

1. 活動の概要

日時：平成26年7月2日（水）8：50～12：10

場所：来島小学校6年生教室、石見銀山街道（古民家）、瀬戸山城跡

内容：世界遺産石見銀山と戦国時代から江戸時代の飯南町

世界遺産や文化財について理解してもらうとともに、身近なところにもいろいろな歴史的背景を持つ文化財があることを理解してもらう活動を実施しました。

2. 活動の様子

世界の人々が守り伝えていく世界遺産が今は1007もあること、日本にはそのうち18あることなどの話の中で、「巖島神社行ったことがある」、とか「ピラミッドのこと知っている」など自分の経験・知識を踏まえた発言があり、関心を持っている様子がうかがえました。

石見銀山の話では、学習中の戦国時代の武将や飯南町にある遺跡が関係していることがわかり、興味を持ったようでした。また出土遺物に触れ、当時の様子に思いを馳せていました。

瀬戸山城跡の現地見学では、急な上り坂を頑張っのぼり、頂上からの眺めを楽しみながら尼子氏と毛利氏の間で戦った赤穴氏のことを考えていました。



授業の様子



現地見学の様子

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・銀を取っていたところやほかの銀山街道に行ってみたくなった。
- ・銀山街道をもっと歩きたい。
- ・別の城に行ってみたくなった（飯南町にある山城を制覇してみたい）

2) 担任の先生から

- ・飯南町域にある文化財にふれて地域の良さを再発見でした。
- ・日頃の授業では触れない部分もあり、子供たちも楽しそうでした。

飯南町にある文化財の一部を見て回りましたが、今回まわれなかったそのほかの文化財についての資料もあればよかった（担任の先生からの意見）との点については今後の改善点としたいと思います。ありがとうございました。